



HandaCity



はんだ市議会

だより

2023年9月1日発行

HEADLINE

- 一般質問、16人が市政を問う!
- 令和5年第4回定例会審議結果
- 各委員会の年間調査テーマ



半田市議会広報へ

市政を問う

一般質問?



6月定例会における市政に関する一般質問は、6月13日から16日に行われ、16人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。
(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

問

公民館のICT化（WiFi環境整備や利用者用のパソコン）を国の政策であるデジタル田園都市国家構想交付金を用いて整備していくべきだと思えますが、どう考えますか。

今後はホームページやチラシだけでなく、動画を活用した広報を取り入れるつ、目的や対象者に合わせた学びのプログラムを検討していきます。

問

市民大学（リカレント教育）を社会人の学び直しと捉え、ビジネススキルの向上や社会起業家の育成、また女性の社会進出を後押しする講座を設けるなど対象者や目的を絞り展開するべきだと思えますが、どう考えますか。

公民館等社会教育施設の
利活用

芳金秀展
(創造みらい半田)



本年度もデジタルサポートに6件の応募がありました。今後もデジタル人材の育成に努めていきます。

問

自治体でDXはICTに不慣れな世代に寄り添い手を取り一緒に前に進んでいく必要があります。今後はサポートできる人材を育成していく必要がありますが、どう考えますか。

現在、市内公民館は14館中8館にWiFi設置が進んでおりますが、うち市民が利用できる館は6館です。今後、国の交付金も検討しながら公民館のICT化を進めることを検討します。

問

子ども医療費の通院1割負担を残す理由は何ですか。

無料のサービスではないと言ふ事を認識していただくことも大切だと考えます。必要以上に医療費が増えることを懸念するためです。



問

高校生までの医療費を無償化にすると市の負担はどのくらいですか。

16歳から18歳までの医療費を単純計算すると約4千7百万円です。中学生から高校生まで無償化にすると約1億2千万円の負担になります。

有留麻由
(無所属)



子ども医療費を無償化に

問

給食は食育であり、無償である義務教育の一環という認識はありますか。

食育という認識はありますが、今のところ、無償にする考えはありません。



問

少子化対策としての給食費無償化をどうとらえていますか。

一定の効果はもたらすと考えていますが、自治体の財政力に依存するのではなく、国の動向を注視し、対応していきます。

学校給食費を無償化に

問

心身の成長に大きな役割の給食を無償にする必要があります。半田市の見解を伺います。

在宅で子育てをしている家庭を考えると、保護者に負担いただくべきものだと認識しています。

保育園・幼稚園の給食費を無償化に



鈴木英華
(創造みらい半田)



子育てしやすいまちへ

問 安心・安全な子育てができるためにはどのような環境や支援が必要で効果的だと考えていますか。

子育てについて気軽に相談できる窓口、乳幼児が親子で安心して過ごせる場の整備、幼児教育、保育機会の確保、教育や育成支援の充実が効果的だと考えています。

問 取組んでいる子育て支援政策の中で評価できる点について教えてください。

評価されている点は幼児教育・保育施設が充実している、保育施設などが32園あり、ニーズに応じて選べます。児童センターや地域子育て支援拠点、公園などの遊び場が偏りなく市域全体



にあります。子どもに関する行政窓口が市役所本庁舎2階に集約しており、迅速に相談対応できる3点が大きくあげられます。

子育て世代への情報発信

問 子育て支援情報は今後どのように展開し充実させていきますか。また、イベントやワークショップ情報など連携していく考えはありますか。

親子で楽しめる一般向けのイベント情報も収集し、子育て支援のページからでも情報が得られるようリンクを貼るほか子育て中の方に公式ラインの登録を推奨するなど「はんだで暮らす」ことをより楽しんでいただけるように連携して情報発信を推進していきます。



中村和也
(志民ネット)



多様な学びの保障

問 外国籍児童生徒の就学状況を教えてください。

半田市在住で学齢期の外国籍児童生徒数は、304名です。対して13名が就学状況不明となっています。

問 不登校児童生徒の人数の傾向を教えてください。

年々増加し、高学年になるほど人数も増えます。在学中や進学に合わせて復帰する子がいる一方で、新たに欠席することになる子が増えるため、不登校児童生徒数は減少していません。

問 夜間中学の設置に向けて議論を始めませんか。

愛知県が入学希望者の人数やニーズ調査を行います。その結果を見極め、必要

に応じて愛知県に要望します。

未就学児童の子育て支援

問 紙おむつ月額定額制サービスの利用率を教えてください。

一番低い園で16.67%、一番高い園で59.9%となっております。全体平均は33.66%です。利用率向上のため、質感や費用面において、満足度が高まるよう検討を進めていきます。

問 お昼寝布団の持ち運びを不要としたらいかがですか。

保育園園長会において、他市町の先進事例を調査しながら、昼寝用ベッドやマットレスなど最適な商品について議論しています。数園での試験導入を踏まえ、本格導入に向けて検討を進めていきます。



小出義一
(志民ネット)



畜産臭気対策を研究機関等との連携で

問 畜産は地場産業として成長が期待される一方で、充分な臭気対策も求められています。行政としてどのように関わっていますか。

大同大学との共同研究を行い、臭気測定手法などの共同研究を実施し、水分量と臭気抑制の研究では、臭気監視業務の効率化が図られました。臭気の数値化により、抑制に成果があったと考えています。

問 現状も広範囲の住民から、臭気対策を求める声が届いており、対策は不十分だと考えられます。畜産臭気対策は環境問題でもあり、行政が主体的に関わる必要があると考えますが、いかがですか。

臭気対策は良好な生活環境の確保と畜産振興の両面から必要な事業と捉えており、重要課題として取組んでいきます。

問 愛知県の農業試験場など専門の研究機関では、臭気対策や糞尿の液肥や土壌改良材利用などの研究も進んでいます。再利用率を進めることも課題ではないですか。

堆肥の販売、流通、在庫管理も課題だと捉えています。畜産施設内の堆肥保管を調整できれば、臭気対策にもなります。専門知識を持った職員がいらないなど、見直すべき点もあり、外部の専門機関との連携も踏まえ取組んでいきます。





坂井美穂
(公明党)



印刷物のアクセシビリティの向上

問 そのままの状態では印刷物の情報を受け取ることができないといった市民からの申し出はありますか。ある場合、内容と対策はどのようなですか。

問 視覚障がいのある方から「自宅に届いた郵便物の種類がわからない」との申し出があり、申請手続きにより、封筒に点字シールを付けるようにしました。

答 ごみの出し方、水災害ハザードマップ、納税通知書、はんだ市報について、視覚障がい者に限らず、識字障がい者や高齢者、日本語を理解できない外国人等への「配慮」の現状はどのような状況ですか。

多言語版の「ごみの出し方冊子」と「水災害ハザードマップ」の作成、納税通知書はユニバーサルフォントの採用、音声による声のはんだ市報を作成しています。

問 令和6年4月から、民間事業者においても「合理的配慮」が義務化になるにあたり、半田市での音声コードの導入検討を開始すべきと考えますが、見解を伺います。

まずは事例収集、課題抽出、施策の有効性など、音声コードの導入について調査研究を進めていきます。



竹内功治
(創造みらい半田)



ICTを活用した教育環境ならびに教育の充実

問 ICTの活用による心や諸問題への早期アプローチの取組みを伺います。

モデル事業として、課題を抱える児童生徒を多角的に評価し、支援・指導プログラムを自動生成するシステムを活用と検証を行っています。

問 タブレットへの書き込みや授業の振り返りのコメント等から、AIで心の問題を分析する取組みを行ってはどうですか。

先端技術の活用は重要ですが、まずモデル事業で進めていることから取組みます。

問 いじめの現状把握のため月2回ほど紙でアンケートを行っていますが、タブレットを活用

問 用してアンケートや児童生徒から相談が出来るようにしてはどうですか。

今後、取組みを検討します。

問 不登校や病気療養等で学校に通えない児童生徒のオンラインの活用を伺います。

一部の学校では不登校の児童生徒に対しオンラインでの授業参加を行っています。今後、更にICTの活用を積極的に進めていきます。

問 国はタブレットを活用した個別学習の推進を求めています。今後、学習・教材アプリの活用の充実をどう考えていますか。

児童生徒の習熟度に応じて問題を自動構成するAIの検証など、より効果的なアプリの調査研究を進めます。



鈴木幸彦
(創造みらい半田)



市職員は市政運営のための大きな原動力

問 市役所での働き方改革はどのようなことを行っていますか。

時差出勤・在宅勤務を導入し、定着したので今後も継続します。また男性職員の育児休業取得率も43.2%と確実に進んでいます。働きやすい職場環境を整えつつ、最大限の能力を発揮できるよう努めています。

問 夏場冬場の庁舎室温管理は、働く職員にとって適正ですか。

夏は28度、冬は19度を保ち、開庁から閉庁まで稼働させています。

問 現実の違いが、市民、残業の職員が不快を感じる環境を確認し

問 ています。姫路市では、夏場の室温を25度に設定した結果、仕事効率が上がりましたが、電業が大幅に減少、電代との差し引きで数千円支出が抑えられました。半田市も挑戦してみませんか。

まずは開庁時間内は確実に空調を稼働させ、職員が心地よく仕事ができるよう、改善していきます。

問 中途離職や心の疾患で休職中の職員が目立ちます。事業は、職員の頑張りあって成り立つもの。職場環境の改善と良好な人間関係を創ることも市の責任と感ずますが、見解を伺います。

時間に余裕を持つこと、職員間の風通しを良くすることなどで不満を減らし、良好な職場環境を整えていきます。





神原瑞輝
(創造みらい半田)



介護に関する家族が抱える諸問題とその支援

問 特別養護老人ホームの入居待機者は66名いますがこの人数についてどのように考えていますか。

1年前の調査時と比べ70名ほど減ってはいますが少ないとは言えないと認識しています。3年ごとに策定される介護保険事業計画中で県が策定する知多半島医療圏域の整備状況を勘案したうえで定員増などを図っているところです。

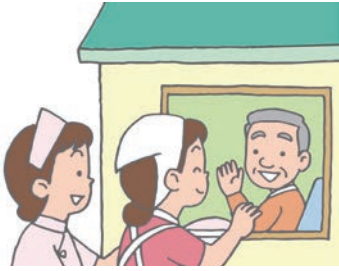
問 介護をしている家族の意見や困っている声などを聴くためのアンケートは行っていますか。

入居待機者のみを対象としたアンケートは行っていませんがそういった方たちを含めた在宅介護実態調査を3年ごとに行っており、

その中で在宅生活を継続していくために必要な支援として、配食サービスや、介護タクシーなどの移動サービス、ゴミ出しのサービスなどが上位にあげられ実施しています。

問 介護のため離職する方は、把握していますか。また介護離職にならないようにする施策はありますか。

令和4年に実施した調査によると要介護認定を受けた592世帯のうち介護をするために離職したと、答えた方は全体の3.7%でした。介護離職を防止する施策については地元企業に出向き離職防止セミナーを行ったり、仕事と介護の両立のポイントを紹介したチラシを配布したりしています。



山田清一
(公明党)



市民ニーズに対応した市営住宅のあり方

問 保証人を立てられず、市営住宅の入居を諦める人がいないようにする必要がありませんが、連帯保証人規定を廃止した場合の課題は何ですか。

家賃未払いなど入居者債務の人的担保と緊急連絡先の確保が挙げられます。

問 連帯保証人規定を廃止すべきと考えますが、見解を伺います。

家賃滞納者に対する明渡請求など、督促期間の短縮などの滞納事案への取組み強化や、緊急連絡先の確保により、連帯保証人と同等程度の対応が可能であると考えられること、身寄りのない高齢者等が増加していることを踏まえ、保証人の確保が更に困難になると考

えられることから、準備が整い次第、連帯保証人の規定を廃止します。

問 市民ニーズに対応した市営住宅へ向けた課題と、その解決策について伺います。

人口当たりの管理戸数が多いこと、空き部屋が多く発生していることが課題です。今後、課題解決に向け、市営住宅を取り巻く状況の変化を踏まえ、保証人制度の廃止、単身者の入居条件の緩和などにより入居実態をつかむとともに、アンケート調査によるニーズの把握に努め、効率的な利活用が進むよう、適正な管理運営を目指します。



田中高久
(創造みらい半田)



すべての市民が文化芸術に触れられるまちづくり

問 文化芸術推進計画のチャレンジ項目の進捗を教えてください。

令和3年に初めて本計画を策定し、6つの基本目標を定めて取り組んでいます。今後も段階的に計画を推し進めていきますが、現段階では障がいのある方を交えた企画や旧中塚家住宅を活用したミニコンサートなどを取組んでいます。

問 文化芸術に興味を持っていない子どもへどのように機会を提供しているか教えてください。

普段子どもたちが過ごしている地域に向いて、アートや芸術と自然に触れられるような機会を作っています。市内全小学4年生にプロの音楽家が出前授業

などを行っています。

問 文化芸術体験についてオンラインを活用してはいかがでしょうか。

著作権や肖像権の課題を整理した上で部分的に活用を進めていきます。

問 困窮世帯等を含め情報を得られにくい方への課とも連携した積極的な情報提供が必要だと思いませんか。いかがでしょうか。

興味関心の有無に関わらず、より多くの市民の方々に知ってもらうために、学校や各園の協力依頼だけでなく、個々の事情に合わせた情報提供が行える部署との連携もしていきます。





麻生七海
(公明党)



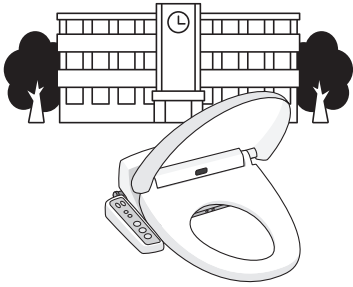
温水洗浄便座の設置

問 市内小中学校のトイレの温水洗浄便座の設置状況を伺います。

市内小・中学校18校のうち一部、保健室や多目的トイレ、職員・来客用トイレなどに設置している学校はあります。しかしながら、児童生徒用トイレに設置している学校はありません。

問 今後、市内小中学校のトイレに温水洗浄便座の設置を推進すべきと考えますが、見解を伺います。

今だ、公立小中学校の児童生徒用トイレの温水洗浄便座は一般的ではありません。学校トイレは使用頻度が高いことや子どもたちが清掃を行うことから、故障しやすくなったりすることを考慮してのもののですが、



今後は社会情勢を見ながら、適切に判断していきま

問 市内小中学校の多目的トイレの設置状況を伺います。

市内小中学校18校のうち16校に設置していますが、小学校2校は未設置です。

問 全ての小中学校で多目的トイレの整備を早急に取組むべきと考えますが、見解を伺います。

未設置の学校については、今後、医療的ケア児や肢体不自由児の入学が見込まれ、多目的トイレの必要性が高まったときや、施設改修時などに整備することとし、また、大規模災害により、体育館が指定避難所となるときには、車椅子利用者のための組立式トイレに対応します。



國弘秀之
(チャレンジはんだ)



高齢者の情報格差

問 高齢者がデジタル社会に参画するためのサポート策はどのようなものがありますか。

昨年度、高齢者を対象に、スマホ講座を開催し173名の市民に参加いただきました。また、市役所と図書館でスマホよろず相談会を実施したところ、79名の方にご利用いただき好評でした。そのため、今年度は毎週1回開催し、スマホ操作の知識が定着するよう配慮していきます。併せて、デジタルになじみのない高齢者のために、スマホの操作方法の説明や相談に応じる高齢者デジタルサポーターを公募したところ、6名の応募をいただきましたので、要望に応じて派遣していきます。



問 高齢者への情報提供手段の取組みはどのように行われていますか。

本市の情報発信はインターネットの普及に伴い、ホームページやSNSなど時代に合わせた情報提供手段を導入してきました。市報については、情報量の増大に対応するため、記事のスリム化・簡素化を図ってきましたが、高齢者向けの情報については優先的に掲載するとともに、内容を分かりやすく記載するなどの配慮を行っています。今後も、デジタル化になじみのない方が取り残されないよう配慮していきます。



伊藤正興
(チャレンジはんだ)



七本木池公園の曇り対策

問 新たな日陰の創出を提案しますが見解を伺います。

人気の高い公園としては、日陰となる場所が十分ではないと考えており、利用者からの要望もいただいていることから、園路沿いに新たな日陰施設を設置し、快適に休息できる場所の整備を計画していきます。

新病院アクセス道路における進捗状況と整備

問 いのちを守る道の進捗状況と今後の計画について教えてください。

阿久比町と鉄道事業者との工事の施工方法等の協議がまとまりましたので今年度より工事を行っていきます。

令和6年度末までに整備を完成させ新病院の開院に間に合わせる計画です。

問 環状線の整備について阿久比町との協議はどのように進められていますか。

4月に知多建設事務所、阿久比町と今後の進め方について意見交換をしました。課題を共有しながら、早期に整備が出来る方法を早急に決めることを確認し、勉強会により進めていきます。

思いやり駐車場の整備

問 案内看板や路面舗装の表記を統一すべきと考えますが実施していただけますか。

誰もが見やすく、分かりやすいものとする必要があるため、建て替え中の半田病院を除き、案内看板と路面表示の記載内容の統一化に努めていきます。



令和4年度、4,122人が、半田消防署職員より講習を受けました。中学2年生は全員が受講します。設置場所の周知は、これから講習内容に取り入れます。すでにAEDが設置されている公共施設やスポーツ施設の管理者や利用者にも、救命講習を働きかけます。

問

急病や事故・災害などで突然心臓停止となった時、救急車が来るまでの間、その場にいる人が応急手当を行い、必要な心臓に電気ショックを与えるAEDの使用が命をつなぐために重要です。救命講習やAED活用の取組みについて見解を伺います。

救命講習とAED(自動体外式除細動器)整備活用で命をつなぐ、まちづくり

加藤美幸
(無所属)



いつでも誰でも使える、屋外設置AED

貸し出し事業が有効であるということであれば、今後検討していきたいと考えています。

問

市民がスポーツや地域の行事、私的なイベントなどを行う際に、AEDの貸し出し事業を行うことへの見解を伺います。

公共施設のフロアマップに位置を表示するなど、改善を図ります。半田市のホームページには設置場所や利用案内を掲載します。また、愛知県のAEDマップへ民間の設置情報の登録を推奨するなど、救命活動への協力を図ります。

問

AED設置場所の見える化や、民間との協力について見解を伺います。

イベント等にて実施した中心市街地に関するアンケートなどによると、日常的に中心市街地へ行く目的がないとの声を多く聞いているのが現状です。これを変えていくために市長特任顧問を中心に、まちづくりのキーマンとなる方や、これから事業を起こしたいと思っている方と、中心市街地に来る人、住む人、働く人が増え日常の賑わいをつくるように取組んでいきます。

問

中心市街地でのイベントによって生まれた賑わいを、日常の賑わいにしていくための仕掛けづくりの現状を教えてください。

アフターコロナにおける経済活性化をするために

山本裕介
(創造みらい半田)



エネルギー高騰が続いている中で、今どういった事業に支援が必要なのか、社会情勢や半田市の状況・時期を踏まえながら、適宜適切に判断していきたいと考えています。

問

効果があったとのことですが、再度実施されますか。

半田市における令和5年2月のPayPayの取引額は前月比で381%増額の2億2,900万円増となり、アンケート結果では60%の店舗が前年同月比で売上が増加したとの回答をいただいています。

問

「キャッシュレスで半田を元気にキャンペーン」による経済的な効果はどれだけ生まれたのでしょうか。

● 第33回 議会報告会のYouTube配信について ●

第33回 議会報告会「市民と議会のつどい」については、YouTubeで配信予定です。

9月定例会で審議した令和4年度の決算などについて、審査の概要やポイントをわかりやすくお伝えします。

議会報告会をご視聴いただき、議会を身近に感じていただけたら幸いです。

配信日については、議会ホームページでご案内します。



半田市議会
議会報告会へ

審議結果 令和5年第4回定例会(6月13日~23日)

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
34	令和5年度半田市一般会計補正予算第3号 総務 ：寄付金や助成金を活用し、火災予防啓発品の購入や、防災資機材としてテントや発電機の充実を図るものなど 文教 ：民間保育所等整備費補助金について、国の交付基準額の改正に伴い増額するものなど 建設 ：燃料高騰の影響を強く受ける中小企業に対して、電気、ガス料金の支払額に応じて支援金を給付するものなど
35	令和5年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (設計内容を精査した結果、追加工事に伴い増額するほか、工期を確保するために令和5、6年度で継続費を設定するもの)
38	第2一般廃棄物最終処分場埋立地造成工事(週休2日制工事)請負契約の締結について
39	新学校給食センター建設工事(週休2日交代制工事)請負契約の締結について
40	新学校給食センター建設電気工事(週休2日交代制工事)請負契約の締結について
41	新学校給食センター建設管工事(週休2日交代制工事)請負契約の締結について
42	新学校給食センター建設空調工事(週休2日交代制工事)請負契約の締結について
43	新学校給食センター建設厨房工事(週休2日交代制工事)請負契約の締結について
44	半田市公平委員会の委員の選任について (瀧本真氏を選任するもの)
45	半田市農業委員会の委員の任命について (堀寄純一氏、石川敏彦氏、深津延幸氏、岩橋克己氏、石川明美氏、榊原久美氏、小栗絵里氏、竹内甲永氏、新美久美子氏、新美周大氏、藤野道子氏を任命するもの)
議員提出3	特別委員会の設置について (公共施設マネジメント調査特別委員会と健康寿命延伸調査特別委員会を設置)

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告8	専決処分の報告について(公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告9	専決処分の報告について(道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告10	半田市土地開発公社の経営状況について
報告11	令和4年度半田市一般会計事故繰越しの繰越しについて
報告12	令和4年度半田市一般会計繰越明許費の繰越しについて
報告13	令和4年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計事故繰越しの繰越しについて
報告14	令和4年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計継続費の繰越しについて
報告15	令和4年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告16	令和4年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告17	令和4年度半田市立半田病院事業会計継続費の繰越しについて
報告18	令和4年度半田市水道事業会計予算の繰越しについて
報告19	令和4年度半田市下水道事業会計予算の繰越しについて
報告20	令和4年度半田市下水道事業会計継続費の繰越しについて

審議結果 令和5年第4回定例会(6月13日～23日)

賛否の分かれた案件

議案 番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。	創造みらい半田										公明党	志民 ネット	みづが はんだ	無所属			議決 結果									
		沢田清	山本裕介	芳金秀展	鈴木英華	田中嵩久	澤田幸彦	鈴木瑞輝	柿原功治	竹内昭司	渡邊玲子	岩田英之	石川清一	山田美穂	坂井七海	麻生和也	中村義一		小出正興	伊藤秀之	國弘秀之	有留麻由	新美保博	加藤美幸			
議案 36	地方独立行政法人知多半島総合医療機構定款の制定について (法人名、役員、権限などを定めた定款を制定するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決		
議案 37	地方独立行政法人知多半島総合医療機構評価委員会の共同設置に関する協議について (評価委員会を半田市と常滑市共同で設置することを定めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決	
意見書 1	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について (政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決	
議員提出 1	半田市議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正について (第21条第2項中、「尊重し、その結果が議員辞職勧告の場合、辞職手続きをとらなければならない。」を「尊重する。」に改めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決	
議員提出 2	半田市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について (議員の請負状況の透明性を確保するため、その状況の公表に関する事項を条例で定めるもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決

表の見方: 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

反対討論

議案36号・37号に反対

有留麻由議員

定款の第1条の目的が、地域医療を守るものならば、公立病院としてこれからも運営するべきと考えます。法人の中期目標を議会で諮られるのが、開院までに1回と限定的です。議会と住民のチェック機能が奪われるという大きな問題点があります。独立法人化することで、職員の処遇などの低下や医療サービスの低下が考えられ反対です。

特別委員会

公共施設マネジメント調査特別委員会

健康寿命延伸調査特別委員会

委員長 中村和也
副委員長 鈴木英華
委員 伊藤正興、田中嵩久、瑞輝、渡邊昭司、石川英之、榎原、英之

委員長 鈴木幸彦
副委員長 山本裕介
委員 小出義一、國弘秀之、加藤美幸、山田清一、國弘秀之、小出義一、國弘秀之、加藤美幸、山田清一、國弘秀之

今後の本会議の開催予定



議会本会議の予定へ

9月定例会

8月30日(水)～9月28日(木)

12月定例会

12月5日(火)～12月15日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します



各委員会の年間調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行い、市に対して提言をしています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

議会運営委員会

「半田市議会基本条例」の検証について

平成23年3月に半田市議会では、議員としての責務を自覚すると共に、市民の負託により応える議会を目指すため、「半田市議会基本条例」を制定しました。全部で9章23条に渡り、議員や議会として活動を行うための規範並びに基本方針を定めています。

基本条例の第22条2において「議会は、この条例の目的が達成されているかどうかを議会運営委員会において検証する」としています。この条例を制定した後、議会の進め方や議員の顔ぶれ、社会情勢などが変わってきています。そこで今期の委員会にて「半田市議会基本条例」の検証を行うことにしました。

基本条例の項目ごとに目的の達成状況など現状を把握し、問題や疑問などがある場合は解決策・改善策を検討し、その結果によっては修正や改正を考えています。現在、そして未来を見据えた「半田市議会基本条例」とするため、調査研究してまいります。

総務委員会

「安全で安心できるすみよし街づくりについて」

昨今、全国的に子どもを狙った犯罪や高齢者を中心に振り込め詐欺などの被害が相次いでいます。また、自転車盗、侵入窃盗、車上ねらいなど市民に身近なところで犯罪が発生しています。他方では、高齢化の進行、一人暮らし世帯の増加等により、犯罪に狙われやすい人や世帯が増加する一方で、地域社会の人間関係の希薄化や地域活動参加者の高齢化等により、地域の防犯力の低下が懸念されています。このような状況のもと、防犯に活用できる多様な技術開発や改良も進んでおり、地域社会への実装、普及拡大が期待されています。

半田市においても、市民の皆さんが犯罪に巻き込まれることがなく誰もが安心安全に暮らせるよう、地域の防犯力強化の取組みを調査研究します。

文教厚生委員会

「介護人材の確保と介護サービスの最適化の取組み強化」

2040年には日本の高齢者人口がピークに達し、労働力不足の深刻化、社会保障の崩壊の危機、介護離職者の増加などさまざまな問題が発生することが予測されています。団塊の世代が75歳を迎える2025年を目前に控えた今、介護人材の確保と最適な介護サービスの提供により、自立支援と重度化防止につなげ、介護給付費を抑える施策が必要です。

当委員会では、半田市においての高齢者の自立支援と重度化防止の環境を整備し、持続可能な介護保険制度を維持するため、介護支援専門員（ケアマネジャー）等の介護人材の確保の施策やAIを活用したケアマネジメントの質の向上と業務効率化による介護サービスの最適化、介護予防の新たな担い手としての民間事業者との連携による高齢者の生活支援サービスの提供など、先進地の取組みを調査研究します。

建設産業委員会

「6次産業化の拠点整備について」

半田市の農業分野における継続した発展のためには、農業者それぞれの所得向上に向けた生産性の改善や商品の高付加価値化、また高齢化による耕作放棄への対策、事業継承や新規就農など人的支援も必要です。その上で、1次産業としての農林漁業を、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業と総合的に一体的な推進を図り、半田市を含む知多半島の豊かな地域資源に新たな付加価値を生み出す6次産業が必要で。しかし、6次産業化は1事業者では難しく、各事業者の連携や面でのサポート、また消費者と事業者を有機的に結びつけるプラットフォームとなる拠点整備が不可欠です。

当委員会では、昨年度より外部人材として採用している6次産業化プロジェクトリーダーと共に、中長期的に整備が必要である拠点整備について調査研究してまいります。

全議員22名が学び情報を共有

今後の議員活動、議会活動に活かす!

議員勉強会を行いました

開催日 6月21日(水)・22日(木)
場所 市役所5階 全員協議会室

1 地方独立行政法人 知多半島総合医療機構設立に向けて



半田市立半田病院

知多半島総合医療センター416床
第3次救急医療機関(救命救急センター)

災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院など

常滑市民病院

知多半島りんくう病院266床
第2次救急医療機関

特定感染症指定医療機関、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟など



Q 新病院建設については、予定通り進んでいますか。

A 令和7年4月開院へ向け、順調に進行しています。

Q 半田市民にとっての利点として、どんな病院になりますか。

A ひとつの法人で2つの病院を運営するため、急性期から回復期まで切れ目のない医療を受ける事ができるようになります。

課題

交通アクセスについて

バス路線の延伸やコミュニティバスの導入が今後、検討されます。

2 半田市中心市街地活性化の進め方について

中心市街地の活性化は 特任活動スローガン

人と場と環境、その見える化

人

来訪する人、働く人、住む人、特に活動をしたいと思っている事業者

場

来訪目的となる多様な場、単に溜まりたくなる場、活動する事業者などが興味を持ち、つながり、育つ場

環境

無目的でも来たくなる居心地よい環境

見える化

可視化することで活力感がにじみだし、波及につながる



3 半田市6次産業化農業支援プロジェクトが目指すところ

具体的な取組みと展開イメージ

半田市にとって農業の強化には個性の強い農家の育成が重要

ワクワクする農業の推進

農業間ネットワークを形成、他産業とのつながり促進



活発な地域交流

地域マルシェ

市民農家 一体となった運営

広域連携マルシェへ

新たな地域サービス

食育、健康、文化、歴史、観光など他ジャンルと絡める

情報発信

情報発信の起点となる「情報プラットフォーム」の構築

審議結果 令和5年第5回臨時会(8月7日)

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
46	令和5年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第1号 (過年度の介護保険料に係る還付見込額が不足することによるもの)
47	令和5年度半田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号 (過年度の後期高齢者医療保険料に係る還付見込額が不足することによるもの)
48	道路整備工事(その4)の請負契約の締結について (都市計画道路環状線を国道247号に接続する環状線の整備などを実施するもの)

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告21	専決処分の報告について (公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告22	専決処分の報告について (公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告23	専決処分の報告について (道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)

あとがき

6月の定例会は16名の議員が一般質問を行いました。改選後、新人議員にとっては初めてのことで緊張しながらも、選挙中に市民の皆様から聞き取った要望・意見などを胸に、質問席に立ちました。一般質問をはじめ、議会のこととを多くの方に身近に感じてもらうため、この議会だよりの紙面も工夫をこらそうと考え、学習会を行いました。議会側から外に出てふれあう企画、「クイズ！GIRKAIへGO!!!」などにも力を入れています。これからも、開かれた議会にするため、議員一同、努力をまいります。(有留)

広報委員会

委員長 山田 清一
副委員長 小出 義一
委員 有留 麻由/芳金 秀展
鈴木 幸彦/渡邊 昭司

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail: gjj@city.handa.lg.jp



半田市議会へ
QRコードはQRデン
ソーウェアの登
録商標です。